



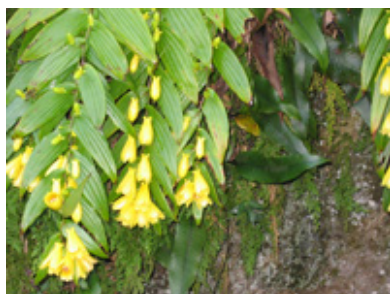
社会福祉法人 高瀬会

高瀬会だより

第11号



今年も池のほとりに咲きました。



〈キイジョウロウホトトギス〉

黄上臈時鳥と書くと思っている人も多いようですが、
「紀伊上臈時鳥」と書き、まさにここ紀南地方が
自生地になっています。
(グリーンヴィレッジ古座川裏)

◇遊歩道◇



グリーンヴィレッジ古座川の裏側にのんびりと散歩を楽しめるように遊歩道が設けられています。平らに舗装され、手すりが設置された遊歩道には、新しく増設された大きな鯉の住む池、池の麓のキイジョウロウホトギス、猿・鹿が飼われた小屋、バナナの木、など見所が沢山あり、リハビリを兼ねて散歩にこられたご利用者様の目を楽しませてくれています。

◇第7回 高瀬会・明神小学校交流運動会◇

交流運動会



第7回となる高瀬会・明神小学校運動会！今年は、あいにく悪天候のため。あじさい苑ロビーにて行われました。

赤組（小学生と古座川園・高瀬会デイサービス）青組（小学生とGV古座川・あじさい苑デイケア）白組（小学生とあじさい苑・グループホームもみの樹）の3ブロックに分かれて、パン食い競争等5種目を競い合いました。

玉入れ競争の時は、元気な小学生の「がんばろうー！！」の声にご利用者様も一致団結し、たくさん入ったカゴから玉を数える声は、大賑わいでした。イス取りゲームでは小学校の先生が大奮闘！！どのチームも高得点をねらって頑張りましたが、今年は小差で赤組が見事に優勝を果たしました！また、各ブロックごとに手作りのポンポンを振ったり、太鼓。タンバリンでの応援は大変盛り上がりしていました。

参加していただいた小学校の皆様、高瀬区老人会の皆様方、本当にありがとうございました。

◇高瀬会看板◇



木造りの温もりある【高瀬会】の看板をご存知でしたか？木材で発展してきた古座川のイメージにぴったりです。

これらは全て、古座川町西川の中田秋男様が高瀬会のために作成してくれたものです。

中田様、ありがとうございました。

◇敬老祝賀会◇



平成18年9月18日の敬老の日、社会福祉法人高瀬会では、あじさい苑と古座川園の2会場にて敬老祝賀会が開催されました。

今年、古座川園では、米寿を迎えられた方を代表して岡本すみ様が、はつらつとした元気な声で挨拶を述べられました。また、お祝いにかけつけてご家族の方に対して「まだまだ頑張るよ!」と笑顔で答えておられました。午前中には、東会の皆様が日本舞踊を披露して下さり、お祝いの膳を頂いてもらった後、午後より、職員による踊りなどの催しがあり、最後には、古座高校吹奏楽部による演奏が行われ「ふるさと」「紅葉」などの曲と一緒に口ずさんでいるご利用者様もおられたり、和やかな雰囲気の中、楽しい時間を過ごされました。ご参加、ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

◇古座川トピックス◇



【虹】

高齢者生活福祉センターささゆり建物上空に、ふわりと浮いた横一線上の虹を職員が撮影しました。変わった形状に下露地区の方々もびっくりされたようでした。これは、大気光象「かさ」と呼ばれ、大気中に浮かんているものに反射屈折して出現する虹（潮岬測候所）のようです。新聞にも掲載されたのですが、珍しいので・・・。



【潜水橋】

明神地区の潜水橋が6月の増水で一部倒壊し、放置すると危険なため、近く橋を撤去することになったようです。潤野橋が完成し、今では利用する住民が殆どいなかったのですが、農道として45年前に完成、増水しても流されないよう欄干がない橋です。半世紀近く親しまれた橋に、昔ながらの風情が消えるのは寂しいとの声もあるようです。

◇介護サービス情報の公表が始まりました。◇

「介護サービス情報の公表」とは

利用者が介護サービスを利用する際に、自ら介護サービス事業所を選択するために必要とされる適切な情報提供のしくみが必要とされていました。そこで、介護保険法の改正により、平成18年4月から、利用者の介護サービスの選択を支援するために、全ての事業所にサービス内容や運営状況に関する情報を公表することが義務付けられました。この制度が「介護サービス情報」の公表です。

介護サービスを利用される方は、この情報を利用して、自分にあった事業所を選ぶことができます。事業所は、サービス改善のための自助努力の仕組み等を公表し、より良い事業者が、利用者から適切に選ばれることにより、介護サービス全体の質の向上が期待されます。

公表される「介護サービス情報」の内容

公表される情報は、「基本情報」と「調査情報」から構成されています。

基本情報 利用料金や職員体制・職員数、施設・設備の状況等の事実情報

※事業所からの報告に基づく内容を公表します。

調査情報 介護サービス事業所のサービス内容、運営等に関する情報

※指定調査機関による事実確認の調査を行った上で公表します。

情報の公表の頻度

1年に1回（新たに指定を受けた介護サービス事業所は、基本情報のみを公表します。）

公表方法

①インターネットで公表し、必要な情報の検索や他の事業所との比較が可能となります。

②介護サービス事業者、施設の見やすい場所に掲示します。

対象となる介護サービス

平成18年度スタート

- ①訪問介護（高瀬会訪問・第2訪問介護ステーション）
- ②訪問看護（高瀬会第2訪問看護ステーション）
- ③通所介護（高瀬会デイサービスセンター・高齢者生活福祉センターささゆり）
- ④居宅介護支援（南紀ケアプランセンター）
- ⑤介護老人福祉施設（古座川園）
- ⑥介護老人保健施設（あじさい苑）

その他、訪問入浴介護、特定施設入居者介護、福祉用具貸与の9サービスです。

※右記以外のサービスについては、順次追加されていきます。

第三者評価について

認知症対応型共同生活介護（グループホームもみの樹）は第三者評価（外部評価）を受け、情報をWAMNET（ワムネット）<http://www.wam.go.jp/>にて公表しています。サービス評価（自己評価、外部評価）は、グループホームの質の確保を目指して、事業者自ら取り組むものです。毎年1回、全てのグループホームで実施し、結果を公開することが義務付けられています。

今年で2回目の評価になりますが、評価結果については満足のいくものであり、要改善点については、改善に向けた取組みを開始していきたいと思っています。評価結果を最大限活かして質の向上と家族や地域の信頼の向上につなげていきたいと思っています！！

◇音楽療法体験◇



「音楽療法的プログラムの体験」

音楽療法って・・・？ 音楽による心理療法ということができます。音楽は人を癒し、心を動かすといわれ、音楽を奏でることは、身体を使った自己表現であり、心の動きと身体の運動を伴います。このような心と身体に生じる現象を伴います。このような心と身体生じる現象を利用し、自然治癒力の増進や障害の改善を図ろうとするものです。「機能障害のリハビリテーション」や「心理的サポート」に活用され、障害を抱えた方や高齢者、病気や環境の変化から精神的にうつ傾向になられている方々への働きかけにより症状が改善・回復したり、生活の質が向上したりといった効果があるといわれています。

先日、米津多美様（大阪音大短大卒、日本音楽療法士学会員）による音楽療法的音楽活動プログラムをあじさい苑で実践していただくことができました。フルート演奏（一緒に歌う）、歌いながらの簡単な手遊び運動、ハンドベル等の小物楽器を使ったリズム体操・・・やはり馴染み深い「串本節」や懐かしい童謡音楽を活用するとご利用者様が参加しやすいようで、米津先生の動きに注目したり、一緒に歌うと自然に笑顔になったりと表情が変わり、楽しむことができたようです。楽器演奏や、音楽に合わせて身体を動かすことが運動機能の改善や維持に、歌うことは呼吸機能を活発にさせ、嚥下障害の改善を助けます。そして、手指を動かしたり、歌詞を思い起こしたりすることが、脳を活性化させ、認知証予防につながります。フルートの音色は聞いていて穏やかな気持ちになりましたね。手遊び体操は、もしかしたら一緒に参加した職員の方が動きが鈍かったようにも思いました（笑）。音楽の効果を知る良い機会をいただき、ありがとうございました。



◇ゆかし庵◇

湯川温泉サロン「ゆかし庵」は、趣味活動の一環としてアートフラワーや押し花細工等の活動を提供しています。

「ゆかし庵」は気の合ったグループで、温泉に入り、食事えをしながら、語らう「場」として、また、マッサージや電子治療器を利用した健康サロンとしての機能を持ち合わせた施設として、原則として要介護認定非該当（自立）の方を対象に平成13年よりスタートしま



した。
本日のご利用者の方たちは、アートフラワーを
毎回楽しみにされており、和やかな雰囲気の中、とても熱心に楽しまれました。

◇どこかで見たような・・・◇

高瀬会だより10月号表紙を覚えていませんか？
季節が変わり、すっかり秋です。



◇トピックス◇

コスメ倶楽部

あじさい苑では、女性のご利用者様を対象にして、ご希望者に月1回のエステクラブを行っています。普段は、お顔のお手入れやお化粧をされない方も、お化粧が始まると、昔過ごされていた時を思い出したかのように、じい〜と鏡に映った自分を覗いて見ていました。その仕草や鏡の中の笑顔、お化粧をされた時の笑顔は、恥じらいや喜びが湧き出ていて、私達、職員まで嬉しい気持ちになりました。もっと笑顔がいっぱいになればと思っています。



ゲーム大会

古座川園では、月1回「月例古座川園ゲーム大会」を計画し、実施しています。ゲームの開始にあたり、委員長の挨拶、選手宣誓、トロフィー返還などを行い、「優勝目指して頑張るぞ！」を合い言葉にスタートです。皆様自分の番になると顔つきも変わり、車イスの方も身を乗り出して頑張っておられました。

梅干し作り

もみの樹では、今年も梅を漬けました。まずは梅を選別し、塩漬けにして三日三晩天日干しに。このときに、雨にうたせないように気をつけなあかんのや」、「天日干しにすると、皮がやわらかくなるんや」といろいろ教えてくれます。三日間、天気にも恵まれ、きれいに干しあがりました。梅酢としその葉で本漬けにしてできあがり！おいしく漬かりますように・・・食卓に並ぶ日が待ち遠しい。

◇夏の行事特集◇

盆踊り

平成18年8月、今年も恒例の「夏祭りの納涼盆踊り」が開催されました。東会の皆様に協力して頂き、職員のあざやか(?)な浴衣での踊りで幕が開け、黒潮太鼓の迫力ある演出!そして通所サービス、古座川園、訪問サービス、あじさい苑、グリーンヴィレッジ古座川とささゆり、もみの樹の各チームで競う仮装、お楽しみクイズ大会などで盛り上がりました。

また、ボランティアの方の応援でたこ焼き、焼きそば、かき氷などの屋台も大盛況に終わり、夏の一夜が賑やかに過ぎていきました。

夕涼み会

夏の終わりに、夕涼み会を開きました。ビールやジュースを飲みながら、童心にかえて花火も楽しみました。始めは、花火を見ているだけで楽しいと言われた方も、心誘われたようで、途中からは一緒に参加され、「色が変わるのがきれいやね」と喜ばれていました。最後にした線香花火は、昔を思い出し、懐かしい趣きを感じていただけたようでした。

流しそうめん

暑い夏!ひとときの涼。真剣な顔、力のこもった箸使い、美味しそうな笑顔。そうめんと一緒に『流れる』楽しい時間でした。

◇中学生の介護体験◇

福祉や高齢化社会について学ぶ総合的な学習の一環として、古座中学校2年生25名に高瀬会デイサービスにて、介護や高齢者との交流を体験してもらいました。

施設の見学や介護の方法を学ぶだけでなく、ご利用者様と一緒に食事したり、生徒が企画したレクリエーション(ゲーム等)を行い、“自分達で高齢者をに楽しんでもらえることを考える”体験をしていただきました。交流では、高齢者と会話が弾むスタッフの対応に感嘆する生徒の皆さん。「話しかける難しさの体験ができました。高齢者と一緒に楽しめるレクを考案しましたが、この考える姿勢こそが福祉の基本です。」と担任教諭は生徒の奮闘振りを見守ってくれていました。この体験において、高齢者の皆さんが生徒との交流を喜んでいるのが一目でわかり、世代を超えた交流の大切さが見えました。

編集後記

最近まで、暖かく感じていましたが、一気に冬めいて来て、慌てて冬支度です。

私は先日インフルエンザのワクチンの注射を打ちました。

注射が好きな人は少ないと思いますが、インフルエンザにかかった時の大変さを考えると、注射の痛みは我慢できます。

風邪をひきやすい季節になりました。手荒いやうがいに心がけて、予防に努めていきましょう、(由谷)